



Weekly Report

創立:1980年(昭和55年)1月10日

会長:大島 浩嗣

幹事:稲葉 徹

会報委員長:高木 勝

例会日:毎週木曜日 PM12:30~

会場:ビルトン名古屋

事務局:460-0008

名古屋市中区栄1丁目3-3

ビルトン名古屋910号

TEL:052-211-3803

FAX:052-211-2623

Mail:2760nagoya@mizuho-rc.jp

URL:http://www.mizuho-rc.jp/

CELEBRATE ROTARY

2004~2005年度 国際ロータリーのテーマ ロータリーを祝おう 2004~2005年度 R.I会長グレンE.エステス・シニア

第1229回例会

2005年6月9日(木) 晴 第43回

司 会:(船渡昭人会場委員)
 体 操:ストレッチング(天野正明会場委員長)
 斉 唱:「我等の生業」
 ビジター:名古屋南RC 鶴田欣也君
 (伊藤 豪親睦活動副委員長)

会長挨拶

大島浩嗣会長

6月に入り、そろそろ梅雨入りの時期となりました。昨年2004年は日本列島に10個の台風が上陸し、また集中豪雨も各地で発生しました。特に夏の暑さは地球の温暖化を実感させるような現象でした。世界の環境科学者の国際機関IPCCでは、現在の大気中の二酸化炭素濃度が2100年までの100年間で1.5~2.6倍に増加すると気温が1.4~5.8℃上昇すると予測されています。農作物は二酸化炭素濃度の増加と気温の上昇のどちらにも反応し、二酸化炭素濃度が増加しますと、多くの農作物では光合成を促進し、濃度が2倍になると農作物の生長や収穫量は30%程度増加します。一方、気温の上昇は農作物の生育を早め、生育期間を短くし、特に実の部分で収穫する作物では収穫物を減少させると考えられます。



IPCCが予想している将来の気候予測値を用いて、日本の米の収穫量予測を行ったところ、全国平均で3.3℃上昇しますと、これは2060年を想定していますが、北海道でコシヒカリの栽培が可能になり、収穫量の13%増収になりますが、その他の地域では収穫量が落ち、全国平均で10%減少すると予測されます。二酸化炭素濃度の増加と気温の上昇が同時に起こる温暖化の下では、大豆のように影響の小さいものもありますが、米の場合通常気温の下では、二酸化炭素濃度の増加により、収穫量の増加が認められますが、気温の上昇と共に、その効果は減少し、特に開花期に最高気温が35度以上になると生育期間が短縮される事に加えて、高温で花粉の発育に影響が出て実がなくなってしまうと見られています。

予想されているような温暖化は、収穫量を減らしてしまうばかりでなく、暖地のミカンや寒冷地のリンゴなどの果樹や冷涼地の高原野菜など、現在の気候に適している地域での栽培をしにくくし、高温にも耐えるような品種改良や栽培管理技術の工夫などで、日本の農作物生産に関しては、壊滅的な影響は少ないと見られますが、現在日本の食糧自給率が40%と言われ、多くの食料を海外に依存しているため、温暖化による世界の農業生産が落ちると深刻な影響を受ける可能性があるようです。今、早急な温暖化対策への取り組みが求められているかと思われれます。

出席報告

岡本忠史出席委員

会員76名 出席57名 (出席計算人数57名)

出席率82.46%

6月2日は補填により 91.23%

5月19日は補填により 100%

5月12日は補填により 98.25%

幹事報告

稲葉 徹幹事

- ・本日例会終了後、13時35分より9階「ことぶきの間」にて「次年度予定者会議」を開催致します。関係各位はご出席をお願い致します。
- ・次週6月16日(木)は「第5回クラブフォーラム(年次総会)」ですのでよろしくお願い致します。
- ・本日メールボックスに「会員名簿確認のご案内」が入れてあります。訂正がある方は、事務局までお申し出ください。
- ・5年後の30周年記念事業として、ニコボックスより200万円を振り替えさせていただきます。

臨時例会変更のお知らせ

名古屋西	6/23(木)	6/30(木)※
名古屋南	6/22(水)※	
名古屋守山	6/22(水)	
名古屋東南		6/29(水)
名古屋中		6/27(月)
名古屋名北	6/22(水)※	6/29(水)
名古屋千種	6/21(火)※	6/28(火)
名古屋名南	6/21(火)◇	
名古屋名駅		6/29(水)
名古屋昭和		6/27(月)
名古屋西南	6/23(木)	
名古屋錦		6/28(火)◇
名古屋東山	6/23(木)	
名古屋空港		6/27(月)
あま	6/20(月)※	
尾張中央	6/22(水)	

(注) ※は休会・その他理由につきビジター受付はありません。

◇はサイン受付時間が17:30~18:30となります。

ニコボックス

小林幸男ニコボックス副委員長

- ・私の誕生祝いに、大変立派なお花を頂きありがとうございました。
嶺木 一夫君
- ・今月13日は58回目の誕生日です。日々反省の毎日です。
松波 恒彦君
- ・6月26日(日)は誕生日です。感慨無し。
長坂 邦雄君
- ・家内の誕生日に、きれいなお花をありがとうございました。
岡本 忠史君
- ・6月9日は家内の誕生日です。
小林 幸男君
- ・6月27日は私どもの40回目の結婚記念日です。
岩田 吉廣君

・1)6月6日は結婚記念日でした。

2)先日は、高須さんにお世話になりました。 **田中 英雄君**

・6月14日は結婚記念日です。 **高木 勝君**

クールビズを執行していますが、そうするとバッチが付けられなく

て困ります。 **平野 好道君**

・準備なく卓話に臨みます事をお許しください。 **小串 和夫君**

・ニコボックスの小林さんと目が合いましたので。 **大川 嘉成君**

・昨日も、ロータリーゴルフコンペで優勝させていただき、ありがとう

ございました。また、日本代表ワールドカップ出場を祝って。

堀 慎治君

・八木沢さんに色々お世話になりました。 **守谷 巖樹君**

委員会・同好会報告

ホテル鑑賞会のご案内:田中政雄委員長

6月16日(木)19時30分に熱田神宮南神池前に集合して下さい。ここ2~3日で4~7匹ホテルが飛んでいます。新たに購入しました幼虫につきましては、まだ土から出ておりませんので、来週早々には出てくるのではないかと考えております。梅雨の時期に入りますので、当日の天候がどうなるか分かりませんが、皆様お誘い合わせの上、多数ご来場くださいますようお願いいたします。

25周年実行委員会:田中隆義副委員長

・ウガンダへ寄付しました学校が8月初旬には完成し、ハンガー・フリー・ワールドより現地住民へ引き渡しが行われます。つきましては引き渡しの時に、会員有志の方で、現地へ赴いても良いという方がおりましたら返事をいただきたいと思ひます。出席される方ツアーを組んでいただいてもよろしいですが、ハンガー・フリー・ワールドでも7月30日(土)に成田から出発する1週間のツアーがあります。ツアー代金は32万円程度という事です。ツアーに参加されるか否かは、参加者で決めていただくといいと思ひます。よろしくお願ひします。

・6月16日(木)20時15分前後に東海ラジオにおいて、25周年記念事業でウガンダに小学校を寄付した件が、放送される事になりました。生放送で、ラジオ局と野崎委員長と電話での質疑応答になるという事です。お時間ありましたら是非聞いて下さい。

卓話

小串和夫君

「思いつくままに…」

本日は卓話を担当させていただく訳ですが、過日、伊勢神宮の式年遷宮に際し、御用材を切り出す伐採式に出席する機会を得ましたので、それに関連した話をしようと思ひます。「式年遷宮」の「式年」とは、ある決まった期間を指し、「遷宮」とはお宮を移す事です。20年に一度、社殿の隣にある同じ面積の土地に、全く同じ社殿を造り、神々にお移りいただく事です。去る6月3日に、長野県の本曾谷で第一号の木材が切り出されました。切り出す前には、場所や切り出す木の選定を行い、「御杣始祭(みそまはじめさい)」という大変厳肅な神事が執り行われてから伐採が始まります。神事は神職ではなく、「杣夫」と呼ばれる、木を切る作業に携わる人々によって行われます。現在ではチェーンソーなどで簡単に木を切る事が出来ますが、古式に則り斧で作業をします。現在、山で作業をしている人はそういった経験がありませんので、20年前に携わった人々を集めたり、伊勢神宮の御料地である山で練習をしたそうです。切り出す木材は直径が60cm程で、樹齢は300年にもなるそうです。斧で時間をかけて切るのも納得できるというわけです。切り方としては、斧を三方から入れ、最後に方向を定めた後、1カ所を切って倒します。内宮と外宮、両方の木材が必要となりますので、それぞれの木を交差させるように倒します。これはなかなか難しい事なのだそうです。その為、作業が時間通り進まず、テレビでの生中継もありましたが、放送時間内には間に合いませんでした。こういった「御遷宮」は熱田神宮ではあるのかと言う事ですが、決まった年数ではありません。他の神社では決まった期間でするところもあるようですが、伊勢神宮のように大々的なものはないと思ひます。使用される御用材は檜の木で、1万3,000本になります。金額的にもさる



ことながら、材を集めるための労力は並大抵の事ではないと思ひます。

ここで熱田神宮のお話をさせていただきますが、熱田神宮は昭和20年に戦災に遭い、昭和30年に復興致しました。ご神体は草薙剣(くさなぎのつるぎ)で、伊勢のご神体は八咫鏡(やたのかがみ)、八坂瓊勾玉(やさかにのまがたま)は皇居にあります。草薙の剣をお祭りしている一番奥のご本殿は、昭和28年に行われた遷宮の際、古くなった社殿をそのまま頂いて、茅葺きを銅板に替えご神体をお祭りしております。

御遷宮についてですが、いつ頃から始まったのかと申しますと、約1300年前からと言う事であります。前回は61回目ですので、単純に掛ける2という事ですと1200年程になりますが、戦国時代に100年程、御遷宮が出来なかったと言う事ですので、1300年という訳です。今度行われるのが平成25年で、62回目となります。式年遷宮がなぜ20年ごとに行われるのかと言ひますと、答えとなる資料がありますので読んでみたいと思ひます。「20年というのは人生の一区切りと考えられる方も多いでしょうし、技術を伝承するために最も合理的な年数だとされています。また、社殿の荘厳さを保つためにもふさわしい年数だと言えます。式年遷宮の制度が定められた時、世界最古の木造建築である奈良の法隆寺はすでに建築されていました。当時の技術からすれば、半永久的な社殿を造る事が出来るはずですが、しかし神宮では20年に1度、神殿を造り替え続けることが、常に若いという考え方で20年に1度、生命の甦りと言う事もそこにはあるのではないかと思ひられます。」と言う事だそうです。

御杣山から御用材を運ぶ際、昔は筏を組んで川を使って運んだ訳ですが、現在では難しいのでトラックに積んで運ぶことになりました。そして船で運んだ名残から各所に立ち寄ります。行く先々で奉祝の祭典や行事が執り行われます。愛知県では15カ所に立ち寄ります。運ぶ際に出た木片は、お守りとして持ち帰るという事です。江戸時代に木曾から御用材を運ぶようになって以来、続いている信仰だそうです。そうして桑名まで運び、お引き渡しを致しました。御用材に関してですが、伊勢神宮の御料地である山でも育林がされており、それが始まりましたのが大正8年で、去年で80年を記念した式典が行われました。その折に私もお招きを頂き植樹をした訳ですが、それが役に立つのが200年後と言う事だそうです。よく育つようにと、日の当たる場所を選んで植えましたが、あとで話を聞くと、檜は斜面の厳しい場所の方が、素晴らしい材が出来るという事だそうです。すでに神殿を造るのに必要な材木の4~5割はすでに用意され、これから次々に運び込まれます。そのようにして平成25年に遷宮が執り行われると言う訳です。

ゴルフ例会

5月例会(269回)

5月27日(金) 於:名古屋ゴルフ倶楽部 和合コース

参加者12名

(敬称略)

		OUT	IN	GROSS	H'CP	NET
優勝	堀 慎治	35	39	74	4	70
2位	泉 憲一	34	36	70	+3	73
3位	落合 諭	43	42	85	12	73
4位	高須 洋志	51	50	101	26	75
5位	松岡 道弘	43	47	90	15	75
7位	細川 達也	46	40	86	7	79
10位	岩崎 道夫	39	44	83	2	81
BB	岩田 吉廣	49	53	102	16	86

新入会員の松岡君を迎えての開催でしたが、参加者は12名と淋しい例会になりました。優勝は堀君で、初優勝でした。ゴルフには絶好のシーズンに入りました。休会の方も是非お誘い合わせの上、ご参加をお待ちしております。

今週卓話

6月16日(木)

第5回CF(年次総会)

次週行事

6月23日(木)

会員卓話: 松岡道弘君

テーマ: 「新入会員イニシエーションスピーチ」